

# NK 活動表彰制度

## 1. はじめに

当社の NK 活動については過去 3 回にわたり本技報の中で歴史のある活動状況を紹介しているが、今回は活動の表彰制度について概要を紹介する。

## 2. 個別表彰

1997 年の「NK 活動管理規程」の制定と同時に「NK 活動表彰基準」を制定し数回の改定を経て現状の形で運営している。表彰は個別表彰、年度表彰、大会表彰に区分されており、ここでは個別表彰について詳細を記す。

個別表彰は、改善提案活動は個人、小集団活動はグループを表彰し、活動の評価点に従って表彰区分を分類し表彰金を定めている。表 1 および表 2 に評価点における表彰区分を示す。

表 1 表彰区分（改善提案活動）

表彰区分	評価点
金 賞	30 ~ 28 点
銀 賞	27 ~ 25 点
銅 賞	24 ~ 20 点
レベルアップ賞	19 ~ 16 点
努力賞	15 ~ 7 点
参加賞	6 点以下

表 2 表彰区分（小集団活動）

表彰区分	評価点
金 賞	100 ~ 90 点
銀 賞	89 ~ 80 点
銅 賞	79 ~ 70 点
努力賞	69 ~ 50 点
改善賞	49 点以下

評価点の評価項目は改善提案活動および小集団活動とも、問題・課題のとらえ方、努力・工夫の程度、効果の 3 項目で構成され、それぞれの項目がさらに 3~5 項目で構成・評価され、改善提案活動は 30 点満点、小集団活動は 100 点満点である。

評価点の一次審査は各事業所・所属で実施し、努力賞以上は二次審査を NK 事務局で実施する。上級賞（金賞、銀賞、銅賞）は本社専門部で構成された NK 審査会で審査を行い、金賞および銀賞は更に役員・部門長で構成された NK 委員会で審査、決定する。

## 3. 個別表彰の実績

個別改善提案は過去に年間 40,000 ~ 50,000 件提出されていたが、参加賞が約 80% を占めていた。2005 年より量より質への転換を行い、参加賞の割合の減少を図るとともに努力賞と銅賞の間にレベルアップ賞の新設を行った。現状の提出件数は年間 20,000 件前後となったが、努力賞の件数は 2005 年以前と同数か少し増加傾向にあり、参加賞の割合も 50% を切り、徐々に効果が現れてきている。ただし上級賞の割合は非常に低く 1% にも満たない程度である。特に金賞は昨年初めて受賞者（社内報 2009 年 6、7 月号記載）が選出された。表 3 に個別改善提案の上級賞の件数の実績を示す。

小集団活動は年間 400 件前後で 90% 以上が努力賞以上で、上級賞も 10% 前後の割合となっている。表 4 に小集団活動の上級賞の件数を示す。

表 3 上級賞件数（改善提案活動）

	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年	'04年	'05年	'06年	'07年	'08年
金賞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
銀賞	7	5	3	2	3	2	0	2	2	4	1	2
銅賞	34	33	60	70	60	57	33	21	21	18	16	17
合計	41	38	63	72	63	59	33	23	23	22	17	20

表 4 上級賞件数（小集団活動）

	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年	'04年	'05年	'06年	'07年	'08年
金賞	4	1	1	1	3	0	0	0	1	3	0	2
銀賞	6	5	3	3	4	7	3	0	5	9	8	2
銅賞	52	40	27	33	34	21	13	17	27	22	33	20
合計	62	46	31	37	41	28	16	17	33	34	41	24

## 4. おわりに

人材育成、職場風土の向上、生産地盤を造ってきた NK 活動を活用し、小さな改善の積み重ねである改善提案活動から上級賞がたくさん提出され、その中から特許または新たなビジネスになる種が出てくるように、更なる NK 活動の活性化を目指し推進していきたい。

山地 博（技術本部管理グループ NK 事務局）